

おれんじの屋根

施設長より

「育成会の特長や強みを活かして」

1ヶ月前の8月20日(土)に、育成会の定期大会がありました。今年の大会は、全体会では、式典後に全国育成会の又村常務理事による中央情勢報告があり、午後は3つの分科会(パネルディスカッション)を開催しました。

会では、令和元年度に、熊本市の小・中学校の知的障がい学級と市内の知的障がい特別支援学校4校の保護者のご協力を得て、日頃どんなことに困ったり悩んでいらっしゃるかなどについてアンケートを行い、約800人から回答をいただきました。その結果、6割以上の保護者が、「障がいのあるわが子の育児や発達面、行動面の心配がある」と回答、さらに、9割以上の方が、「子どもさんの将来への不安や心配がある」と回答されています。

そこで、今年の定期大会では、保護者の不安や心配ごとを少しでも解消するお手伝いをするべく、①「育ち」、②「卒業後の生活」、③「親あるうちの対策」(老い支度を考える)の3つをテーマとしたパネルディスカッションの開催となりました。

小・中学校の知的障がい学級や知的障がい特別支援学校の保護者に広くご案内しましたが、残念ながら、新規感染者が県内でも連日4千人を超える第7波のピークと時期が重なり、参加者は予想よりも大幅に少なくなりました。YouTube視聴もできますので(※視聴者数はけっこう伸びている)、分科会に参加orYouTube視聴で、保護者の方の子育てや進路などの不安や心配ごとが少しでも解消できたり気持ち轻松なれたなら、開催した意義があったかなと思います。

各分科会には、日頃から育成会と関わりが深い3~5人のパネリストやコーディネーターの方に協力いただきました。今回のような、教育や療育、福祉、労働などの分野で第一人者と言ってもよい方々を知っていて、お願いしたら快くお出でいただける、さらに、学校や卒業後の事業所と家庭・親さんの両方につながりを持って、両者の橋渡しとなる研修会ができるのは育成会くらいでしょう。これらは、すべて育成会の特長や強みとなる重要な“資産”と言ってよいかと思います。

若い親さんの会員離れは非常に重要な課題ですが、その対応として、まずは育成会を若い親さんに知ってもらう(※前述のアンケート調査では、育成会を知っているのは、小・中学校知的障がい学級の保護者で15%、特別支援学校でも30%)、そして、育成会は頼りになる、自分たちの悩みや困りごとに力になってくれる、相談に乗ってくれる、そういう存在感や期待感を若い親さんたちが抱けることが大事かと思います。

これまでの「ちょっと聞いてよ!」「先輩教えて!」、疑似体験の出前講座などの活動に加えて、今回のような研修会を定期的に開催していくなど、会の特長や強みとなる“資産”を大いに発揮した活動で、若い親さんたちにも必要とされる会として認知され存在感を高めていけば、先は明るいのではないかと考えています。



書き遊ぶ

「もう疲れました」



9月に入ってすぐ台風11号が発生しました。見る見るうちに超大型になり風速60mとか線状降水帯とかニュースで恐ろしさを連日放送します。飛行機や船の欠航も相次ぎました。テレビでは非常持ち出し物の紹介とか車ごと水没すると水圧で外に出られないとか盛んに注意を促します。近所の病院では広い窓ガラスを守るためしっかり養生テープが貼られました。

我が家でも直撃されたら恐いと早々と雨戸を閉め、物干し台も倒し、風で飛ばされそうなものはすべて屋内に入れました。すると待てど暮らせど大雨も大風も来ません。



いつ来るかとドキドキして床につきました。未明にビューンと突風の音がただけで6日にはしれーっと日本海に去っていきました。

片づけをしてやれやれと思っていると18日に14号がやってきました。テレビでこれまで経験したことのない災害が予想され屋根も吹き飛ばかもというので前回同様、嚴重に台風対策をしました。これもガラガラ近づいて夜中に直撃して去りました。

もう本当に疲れました。コロナとか台風とか来ないでほしい!!



ゆうゆう会会長 瀬上



お月見会



お天気にも恵まれ、少々早めのお月見会を9月8日(木)に開催しました。午後5時30分、利用者さんによる開会の言葉、乾杯の号令とともに会は始まりました。

利用者さんによる「しりとりにゲーム」はなかなか決着がつかず、ルールを厳しくしたりしました。

職員による「め組のひと」のステージは大盛り上がりで、その頃東の空にお月様が顔を出してくれました。

会の最後は恒例の花火大会！線香花火やロケット花火、またミニ打ち上げ花火もあり華やかにお月見会を締めくくりました。

手作りのお月見弁当、とてもおいしかったです(*^-^*)



長い間 お世話になりました

平成13年6月25日、しょうぶの里に納車されて21年間という長い間、利用者さんのお出掛けや通院、デイサービス(現生活介護)の送迎などいろいろな場面でこの通称デイ号にはお世話になりました。

令和4年9月9日、廃車のためしょうぶの里を出ていくデイ号をみんなでお見送りしました。



給食室より

10月 イベントメニュー

- 10月 7日 誕生会
- 10月 11日 リクエストメニュー(昼食)
- 10月 19日 リクエストメニュー(昼食)
- 10月 21日 腹部エコーのためパン、牛乳(朝食)
- 10月 28日 ハロウィンパーティーおやつ

秋バテにご注意!!

体がだるい、疲れがとれない、食欲がないなど、涼しくなった9月下旬頃から現れる症状を『秋バテ』と呼びます。

『秋バテ』の時には体を冷えから守ることが大切です。食事は生姜や根野菜など、体を温める食材を選ぶと良いでしょう。

また、ビタミンB群の多い豚肉や納豆を食べることで疲れを和らげることができます。

管理栄養士 厚地

医務室より

免疫を高める食生活について

寒暖の差が激しくなるこの季節、免疫力を高め、ウイルスに負けない体づくりをしましょう！

《免疫ってなに？》

免疫とはウイルスなど体に害を及ぼす敵(異物)から体を守る仕組みのことをいいます。食事から摂るいろいろな栄養の力で私たちの体はウイルスと戦い健康を維持しています。

《栄養バランスを考えた食事》

主食(ご飯、パン、麺)、主菜(肉、魚、卵、大豆)、副菜(野菜、海藻、きのこ)をそろえた食事を摂りつつ、発酵食品を積極的に摂ると腸内環境が整い、免疫力が高まります。

《善玉菌で免疫力アップ!》

ヨーグルトなどの発酵食品、きのこ類、野菜類、食物繊維、オリゴ糖などを積極的に摂ると良いといわれています。

《ビタミンDが効果的!》

日光に当たることによって皮膚からも作られます。食事プラス適度な運動、外に出ることも大切です。

《規則正しい生活を!》

生活リズムを整え3度の食事をきちんととることも大切です。朝食を抜くと栄養素が不足します。免疫システムが働きません。

※皆さんが少しでも自身の食生活について振り返り、健康づくりに取り組んでいただければと思います。

看護師 武田

《10月の行事予定》

- ☆ 3日(月) 職員会議、給食委員会
- ☆ 6日(木) 訪問歯科
- ☆ 7日(金) 誕生会
- ☆ 13日(木) 訪問歯科
- ☆ 17日(月) 研修会
- ☆ 21日(金) 高野病院腹部エコー
- ☆ 27日(木) 訪問歯科
- ☆ 28日(金) ハロウィンパーティー

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

早いものでもう10月です。10月のイベントとして、ここ20年くらいから「Halloween」がにぎわいを見せています。Halloweenのシボとしてよく目にするのが、目と口と鼻をくり抜いて中にキャンドルを灯したかぼちゃのランタン。実はこのランタンには、「ジャック・オー・ランタン」という名前が付いています。シボとは、イギリスの物語に登場する男の名前。生前、悪いことをばかりしていたジャックは、魂を取ろうとやってきた悪魔を騙したため、地獄に墮ちることもできず、死んだ後もランタンに火を灯して闇夜をさまよい続けたといういわれがあるそうです。

～第65号～

令和4年9月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
Tel (096) 311-4588

